

# 令和3年度 東京都立埋蔵文化財調査センター 指定管理事業報告



令和4年8月3日  
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団  
東京都埋蔵文化財センター

令和3年度の指定管理事業について説明します。

# 新型コロナウイルス対策に伴う臨時休館

第1期臨時休館:令和2年 2月29日から令和2年5月31日まで

第2期臨時休館:令和2年12月28日から令和3年5月31日まで

第3期臨時休館:令和4年 1月11日から令和4年3月21日まで

年度別月別利用者数

年度別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度		6,014	3,818	1,882	2,307	2,496	2,018	1,606	2,015	1,849	1,508	1,751		27,264
前年同月比		122.2%	62.3%	78.2%	109.1%	90.0%	104.2%	87.0%	116.3%	241.1%	133.3%	109.6%		95.8%
2年度				625	1,564	1,969	1,655	1,498	1,619	1,122				10,052
前年同月比				33.2%	67.8%	78.9%	82.0%	93.3%	80.3%	60.7%				36.9%
3年度				1,741	1,685	1,628	1,372	1,475	1,854	1,391	371		544	12,061
前年同月比				278.6%	107.7%	82.7%	82.9%	98.5%	114.5%	124.0%				120.0%
4年度		1,833	2,468	2,868	1,573									8,742
前年同月比				164.7%	93.4%									72.5%

令和4年7月31日(日)現在

臨時休館

まず、新型コロナウイルス対応からご説明します。  
 新型コロナ感染拡大の影響の第一は、長期に及んだ臨時休館です。  
 これは、都立施設に対する都の方針に基づくものです。  
 令和3年度も令和2年度とほぼ同じ約5カ月の臨時休館となりました。  
 しかし、小学校などの団体見学の多くが中止となる中、近隣からの  
 個人利用者に支えられ、利用者数は令和2年度比で20%の増の1  
 2,061人でした。  
 令和4年度は、三年ぶりに4月から開館することができ、途絶えて  
 いた小学校の見学も再開され、7月31日現在で8,742名のお  
 客様にご利用いただいています。

# 感染拡大防止のための様々な対策

## 施設の対策

飛沫感染防止シートの設置、アルコール消毒液の設置、  
検温や入場制限を行うための受付体制構築、換気のさらなる強化など

## イベントの対策

令和2年度の経験を活かして運営



第二に、徹底した対策です。

令和2年度に実施した、飛沫感染防止シートやアルコール消毒液の設置、検温や入場制限を行うための受付体制、換気の強化など、引き続き様々な対策を進めるとともに、「博物館における感染拡大防止ガイドライン」を遵守しました。

また、イベントも、すべて事前申込制にするとともに、令和2年度の経験を活かして運営しました。

こうした努力の結果、お客様から感染者は確認されておりません。

# 新しい生活様式に即した新たな事業

## オンラインコンテンツの充実



## リモート見学やリモート勾玉作りの実施

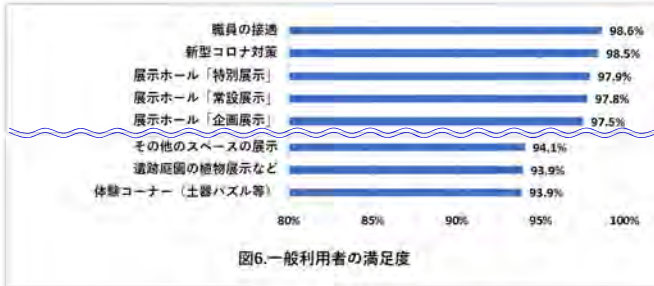


第三に、コロナを契機に開始したWebを活用した事業の取組をさらに推進しました。

動画サイトに動画を追加したほか、企画展示の特設サイトを構築し、お越しいただけない方にその一端をご覧いただけるようしました。また、リモート見学やリモート勾玉作り体験など、令和2年度の経験を生かしたコンテンツ提供も推進しました。

こうした各種のコンテンツや作品は、新たな資金を投入することなく職員が工夫を凝らして作成しました。

## 新型コロナ対策についての、お客様の評価



☆無料でこのような資料、展示が見られ、消毒もあり、安心できました。体験コーナー一つ一つに消毒があって安心感がある。

【40代（初めて 府中市）】

☆体験コーナーの十分な感染対策と箇所数の増がとてもよかったです。（小学生など）大きな団体でも安心して受け入れできそうです。You Tubeも拝見しています。ご努力本当に素晴らしいです。

【50代（5回以上 日野市）】



☆コロナ禍で、来館するのに不安もあったのですが、対策して頂いたので安心してみる事ができました。ありがとうございました。

【50代（初めて 三鷹市）】

☆コロナ禍の中でも、感染対策をしっかり行っているところや、このような状況下の中で火起こし体験ができて、とてもいいと思います。

【中学生（2～4回 日野市）】

続いては、新型コロナ対策についての、お客様の評価です。

アンケートでは、98.5%のお客様から、当センターの対策は満足であるとの回答をいただくとともに、ご意見でも好評でした。

## 発掘調査事業との一体的管理①

### 発掘調査事業

都内全域:26件  
受託金額:約23億円  
調査研究員数:51名  
(1名を都教委に派遣)



学識  
・  
経験

### 指定管理事業

実際に発掘調査に携わる多数の調査研究員が質の高い展示・体験教室・講演会などを行う。



ここからは、指定管理の3つの基本方針に則した説明です。

3つの基本方針とは、指定管理業務を受託するにあたって、当事業団が定めたもので、

「発掘調査事業との一体的管理」、「多様な企画事業の実施」、「適切な施設管理」を掲げています。

まず、「発掘調査事業との一体的管理」についてです。

当事業団は、発掘調査事業を都内全域で展開し、考古学の専門家である調査研究員51名が、埋蔵文化財の発掘調査と記録保存を行っています。

指定管理事業は、発掘調査でつちかった学識と経験を、埋蔵文化財の展示や各種体験教室の実施などにかかっています。

## 発掘調査事業との一体的管理②

おかびと  
常設展示『丘陵人の宝もの～遺跡から見た多摩丘陵の歴史～』

調査研究員が、展示する土器などを選別し工夫を凝らして展示



常設展示では、当センターが所蔵する多摩ニュータウン遺跡の埋蔵文化財を活用し、「丘陵人の宝もの」と題して時代順に展示しています。

この展示は、多摩ニュータウン遺跡調査にあたった調査研究員が、展示する土器などを選別し、展示方法に工夫を凝らし、解説を加えたもので、発掘調査事業と一体となった当事業団ならではのものです。

## 発掘調査事業との一体的管理③

### 発掘現場での遺跡見学会の実施

「調布市染地遺跡」 294名  
 「福生市長沢遺跡」 26名



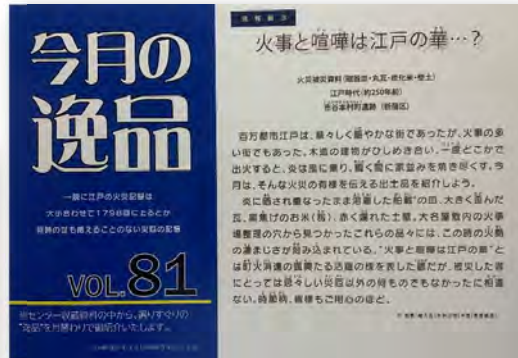
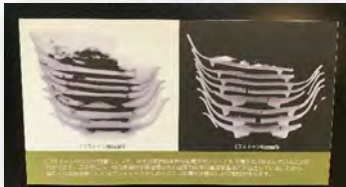
埋蔵文化財に関する理解をいっそう深めていただくため、実際に調査に携わった調査研究員が最新の発掘成果を解説する「遺跡発掘調査発表会」を開催したほか、発掘現場で行う見学会を開発事業者の協力を得て実施しました。見学会は「調布市染地遺跡」と「福生市長沢遺跡」で開催し、320名が参加され、染地遺跡では火起こし体験も開催しました。



## 発掘調査事業との一体的管理④

「今月の逸品コーナー」で発掘中の速報展を実施

「新宿区市谷本村町遺跡」火災被災資料(磁器皿・丸瓦・炭化米・壁土)

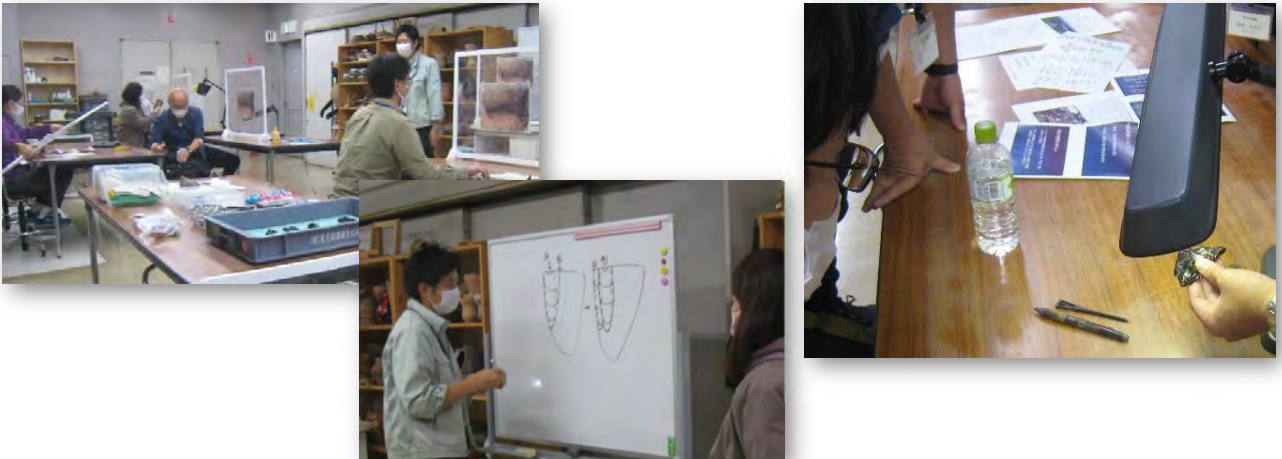


毎月展示替えを行う「今月の逸品コーナー」では、速報展示として、「新宿区市谷本村町遺跡」から出土した土器を展示しました。火災により融着した皿や大きく歪んだ瓦、黒焦げのお米など、大名屋敷内から見つかった品々から、江戸の火事のすさまじさが読み解けることを紹介しました。

## 発掘調査事業との一体的管理⑤

より専門的な体験をしていただく「考古学講座」

調査研究に携わる調査研究員が専門的な体験を直接指導



考古学講座として、「遺構・遺物にみる時間の流れ」と題して、2つ以上の痕跡が重なり合う現場や遺物の状況を読み解いて時間的な新旧関係を捉えて、製作時期の差や製作工程などを把握する方法を、遺構と遺物それぞれについて体験する事業を開催しました。

「専門的な内容だったが、実習があったので初学者にも楽しめた。」などと好評でした。

## 発掘調査事業との一体的管理⑥

展示ホール以外も活用

江戸遺跡の発掘調査成果に関する展示



福島県復興支援事業に関する展示



お客様に大人気の体験コーナー（調査研究員がほとんどの体験用具を作成）



展示ホール以外の廊下なども、江戸遺跡の調査成果や、東日本大震災復興支援事業の展示のほか、大人気の体験コーナーなどに活用しています。

体験コーナーは、調査研究員の学識と経験をもとに、ほとんどの体験用具を調査研究員が作成しています。

## 多様な企画事業の実施①

### 令和3年度企画展示『現場のミカタ』

現場でしか得られない貴重な情報の「ミカタ」をわかりやすく紹介  
当センターにお越しただけでない方に向けて、特設サイトも公開しました。



「多様な企画事業の実施」についてです。

企画展示は毎年1回の展示替えを行っています。

令和3年度は、「現場のミカタ」と題して、多摩ニュータウン遺跡群の「現場」を舞台に、モノが遺跡から出土したときの様子に向け、「埋める」・「置く」・「大量」・「謎」という4つの視点を通じて、発掘現場に残された人びとの営みをわかりやすく紹介しました。

当事業団では、展示やイベントの企画は全て調査研究員が行っていますが、この展示も、現場からしか得られない貴重な情報の見方をお伝えしようと、経験豊かな調査研究員たちが、企画構成しました。また、当センターに来館できない方に向けて企画展示を特集した「現場のミカタ」特設ウェブサイトを新たに作成し公開しました。

## 多様な企画事業の実施②

東京文化財ウィークに合わせた都指定文化財等の特別展示



教育庁が行う埋蔵文化財の普及啓発事業にも協力しました。  
東京文化財ウィーク2021に合わせ、東京都指定文化財（考古資料）  
「多摩ニュータウンNo.513遺跡出土品 奈良時代出土品」の中から、  
展示の機会も少ない文字瓦にスポットを当て展示しました。

## 多様な企画事業の実施③

### 体験型イベント

縄文土器作り トンボ玉作り 縄文の糸作り 勾玉・耳飾り作り 貝の腕輪作りなど



縄文土器作り



縄文の糸作り



貝の腕輪作り

イベントについてです。

「縄文土器作り」、「縄文の糸作り」、「貝の腕輪作り」などの体験型イベントでは、遺跡から掘り出した粘土を使った土器づくり、職員が栽培した「カラムシ」という植物を使った糸作り、職員が海岸から集めてきた貝殻を使った腕輪作りなど、当センターならではの数々の体験教室は、ホンモノにこだわった教室で、お客様からも非常に好評です。

## 多様な企画事業の実施④

### 親子体験型イベント

夏休み企画として、「縄文レリーフ作り」「縄文の布作り」「低学年向け 縄文アートを楽しむ」など多彩な親子行事を開催



縄文レリーフ(平型土偶)作り



縄文の布作り



低年齢向け行事 縄文アート

夏休みに開催する、「縄文レリーフ作り」、「縄文の布づくり」、「低年齢向け行事 縄文アート」など、親子で体験するイベントです。

いずれも、親子で楽しみながら体験できるイベントを目指して改良を重ねてきました。

夏休みの宿題に、ご家族の思い出作りにと大変好評です。

## 多様な企画事業の実施⑤

遺跡庭園「縄文の村」を解説する「遺跡庭園解説会」や、学芸員による展示解説など



遺跡庭園解説会



企画展示解説



文化財ウィーク特別展示解説



学芸員ギャラリートーク

遺跡庭園や様々な展示を解説する行事です。  
いずれも発掘調査の専門家である調査研究員が解説します。  
なかでも「遺跡庭園解説会」は、都の史跡である多摩ニュータウン  
No.5 7 遺跡を解説するとともに、植生復元の考え方や、遺跡の保存  
などについても解説する初めての試みでしたが、大変好評でした。



## 多様な企画事業の実施⑥

会議室を使用する講演会など



映像上映会



遺跡発掘調査発表会2020



文化財講演会

会議室を使用する、「映像上映会」、「遺跡発掘調査発表会」、「文化財講演会」などです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度から全て事前申込制とし、定員も、最大140名のところ半分の70名に減らしました。遺跡発掘調査発表会は、令和3年3月に開催予定であったものが臨時休館により中止となったため、期日を令和3年6月に変更して開催しました。

## 多様な企画事業の実施⑦

### 外部との連携事業



八王子市市民講座



KDDIアートギャラリーとの  
共同企画オンライン鑑賞会



特別展 縄文2021 東京に生きた縄文人  
(於:江戸東京博物館)

外部との連携事業も、八王子市市民講座など6つの団体と事業を開催したほか、江戸東京博物館で開催された、「特別展 縄文2021東京に生きた縄文人」については、企画段階から参画し、展示品の選定や図録作成、収蔵遺物の貸出しなど全面的に協力し、39,000人のお客様に御覧いただきました。

## 多様な企画事業の実施⑧

### 学校教育と連携した取組



小学校団体見学



オンライン展示見学



オンライン出前授業



オンライン勾玉作り



インターンシップ

学校教育との連携も推進しました。令和2年度の団体見学は775名でしたが、令和3年度は1,081名と、やや持ち直しました。また、オンライン展示見学や、オンライン勾玉作りなど令和2年度の経験を生かした取組も計4回行い、大変好評でした。なお、中学校の職場体験はすべて中止となりましたが、大学生のインターンシップを受け入れ、学芸員の業務を体験してもらいました。

## 多様な企画事業の実施⑨

### 新しい事業の展開

#### 動画の追加など



#### オンラインの見学や勾玉作りなど



#### 企画展示特設サイトの開設



新しい事業も展開しました。はじめにも紹介しましたが、動画を職員が撮影・編集し、動画サイトで公開しました。  
また、オンライン見学やオンライン勾玉作り教室を行うなど、令和2年度の経験を生かした新しいコンテンツの提供に努めました。  
そのほか、前述のとおり、企画展示の特設サイトも公開しました。

## 適切な施設管理①

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策



次に、「適切な施設管理について」です。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策も継続しています。

検温や、マスクの確認、対人距離の確保のご案内など、入館時の対策は入口近くに移設した受付で確実に実施しています。

館内では、多数のサーキュレーターにより換気を強化するとともに、体験コーナーにはコーナーごとに消毒液や飛沫感染防止シートを設置し、

手が触れやすい箇所の消毒も定期的に行っています。

## 適切な施設管理②

### さまざまな施設修繕工事の実施

件名	内容等	原因等
1 トイレフラッシュバルブの取替修繕	2階誰でもトイレの動作不良設備を交換	経年劣化による修繕
2 自動ドアの修繕	展示ホール入口の自動ドア腐食箇所を修繕	経年劣化による修繕
3 非常用照明の交換	廊下等の非常灯・誘導灯を交換	経年劣化による修繕
4 消防設備の修繕	3階煙感知器及び館内消火器を取替	経年劣化による修繕
5 空調機械室一部床面の舗装	機器老朽化に伴う漏水事故防止のため、エアハンドリングユニット内部及び周辺の床面を防水舗装	経年劣化による修繕
6 門扉戸車の交換	1階駐車場門扉の動作不良箇所を交換	経年劣化による修繕
7 地階荷解き室シャッターの修繕	広報準備室として使用している実習室のシャッター駆動系を交換	経年劣化による修繕
8 冷凍機水室の補修	地階冷凍機水室の腐食箇所を溶接補修	経年劣化による修繕
9 電極棒の取替修繕	地階環水槽の電極棒を取替	経年劣化による修繕
10 バルブの取替修繕	地階ストレージタンク併設のバルブを取替	経年劣化による修繕

当センターは開館から37年がたち、様々な修繕が必要です。令和3年度は自動ドアや各種照明、開閉が困難になった門扉や冷暖房設備など10件の修繕工事を迅速・適切に実施しました。

## 適切な施設管理③



### さまざまな施設設備の改善

件名	内容等	目的
1 住居模型内の砂除去	庭園内住居模型の砂を除去	遺跡庭園内の環境整備
2 遺跡庭園通路整備	遺跡庭園通路のぬかるみと段差を解消する整備	ユニバーサルデザイン化の推進
3 館内放送用アンプの更新	館内放送用アンプを更新	館内放送の音質改善
4 展示ケース内コンセント設置	2階コンコースの窓展示ケースに、動画展示など効果的な展示ができるようコンセントを設置	展示設備の改良
5 遺跡庭園ナラ枯れ樹木診断	樹木医がコナラ等の樹木を調査	ナラ枯れ被害拡大防止
6 庭園門扉の改良	遺跡庭園入口の門扉外装をメッシュ素材に変更	施設景観と閉門時の認知度向上
7 IT機器及びネットワークに関する委託	機器更新等によるネットワーク環境の改善	情報環境の安全性向上等

故障個所の修繕のほか、段差解消工事や、館内放送用アンプの更新、庭園門扉の改善など、様々な施設改善を行い、お客様の利便性向上などに努めました。

## 適切な施設管理④

### ユニバーサルデザイン推進

改善前



改善後



### 認知度向上の取り組み



誰もが利用しやすい施設を目指すユニバーサルデザイン化として、遺跡庭園の通路を固まる土で舗装する工事なども継続しました。また、施設認知度向上にも取り組み、多摩センター地区連絡協議会への参加を通じた駅貼り広告を年間にわたって掲示したほか、多摩センターの映画館で施設案内広告をお盆と正月に上映しました。



# お客様の声 ❶



## アンケート結果（一般来館者の特性）

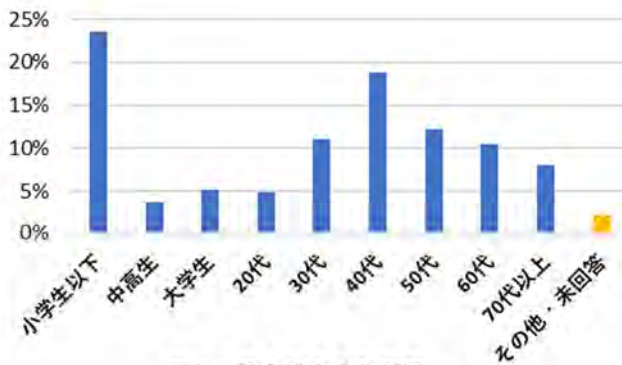


図1.一般来館者の年齢層

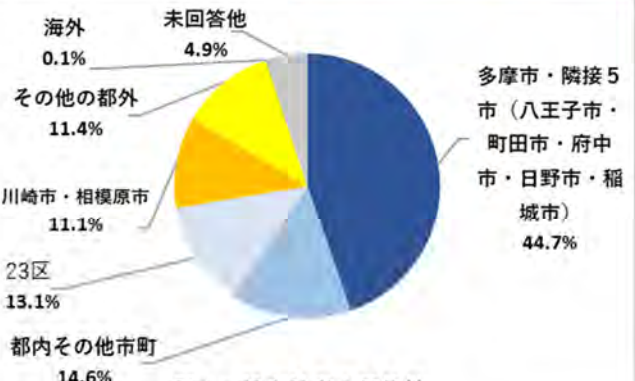


図2.一般来館者の居住地

最後に各種のアンケート結果から「お客様の声」について報告します。

まず、一般来館者のアンケート結果です。

対象人数：学校団体見学を除く10,748人

回答人数：延 4,329人

回答率：40.28%

年齢層は、昨年度と同様に小学生以下と30代以上の方が多くなりました。

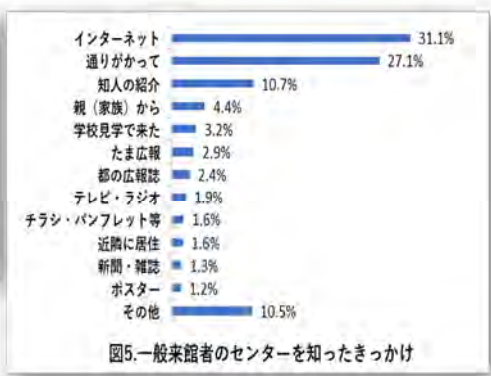
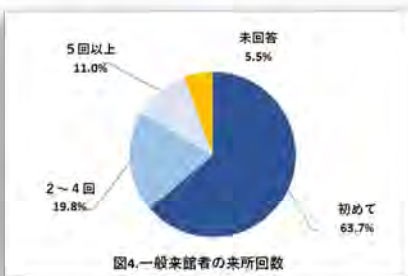
一方で、どこからいらしたかとの問いについては、昨年度と大きく異なり、約73%が都内からであり、都県をまたいだ移動が少なかったことをうかがわせます。

## お客様の声②

### アンケート結果(一般来館者の特性)

令和3年度 一般利用者アンケート各種ご意見一覧(集計対象期)

アンケート項目ほか		
回答者数	4329人 (40/28%)	
内、午前・午後の別	AM:1528人 PM:2789人	
総利用者数	10748人、AM:4015 PM:6733	
2021/12/20(火)	40代 女(初めて 中央区)	狭いスペースですが、充分楽しめました。
2021/12/28(火)	70代以上 男(2~4回 多摩市)	大変見やすくよくできている。
2021/12/29(水)	40代 男(初めて 川崎市)	思ったより、内容が充実していました。
2022/1/4(火)	大学生 女(初めて 藤沢市)	良いレポートが書けそうです。
2022/1/4(火)	40代 女(初めて 府中市)	大変興味深かったです。これからは種々書のことを知れてよかったです。
2022/1/4(火)	小学生 男(初めて 川崎市)	たのしかったです。
2022/1/4(火)	小学生 男(初めて 横浜市)	たのしかったです。
2022/1/5(水)	小学生 女(初めて 東京都(不明))	土器土器しました(´▽`)
2022/1/5(水)	30代 女(初めて 重大和市)	体験コーナーで子どもたちがとても楽し
2022/1/5(水)	小学生 男(初めて 東京都(不明))	ねんどのもちょうがたのしかったです。
2022/1/5(水)	小学生 男(初めて 世田谷区)	たのしかったです。
2022/1/5(水)	40代 女(初めて 世田谷区)	昔の文化が体験できて良い。



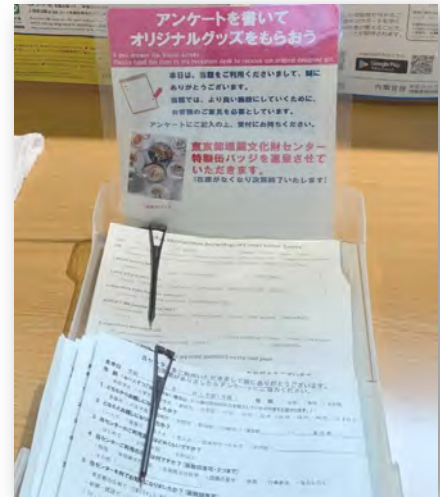
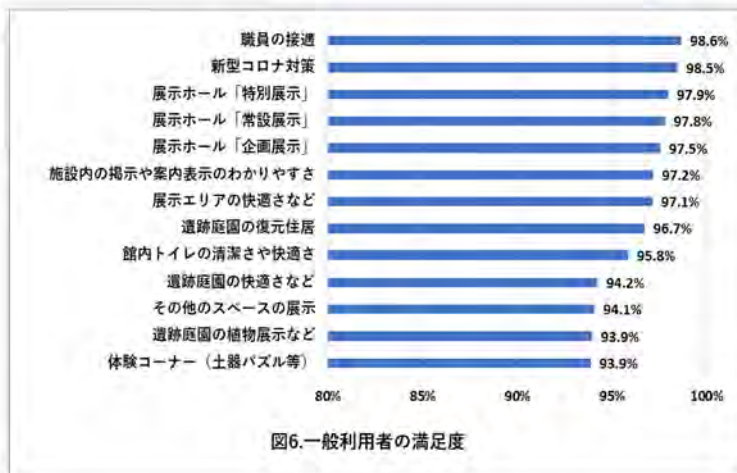
グループ構成は、昨年度半数弱であった「家族で」が6割近くを占め、一人でと合わせると、8割を超えました。

「団体・サークル」や「友人と」といった構成が減ったのは、新型コロナウイルスの蔓延が関係しているものと思われます。

来所回数及び当センターを知ったきっかけは、昨年度とほぼ同様の結果となりました。

## お客様の声③

### アンケート結果（一般来館者の満足度）



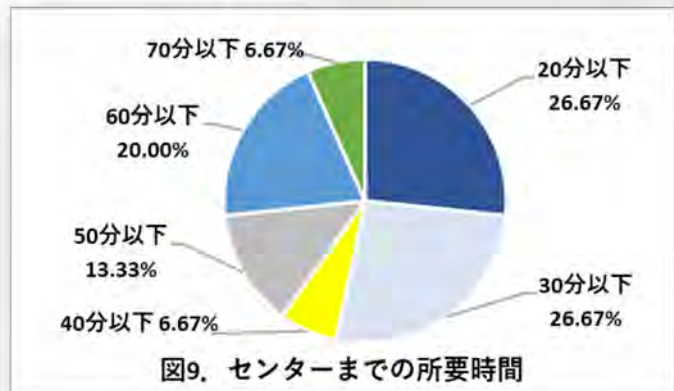
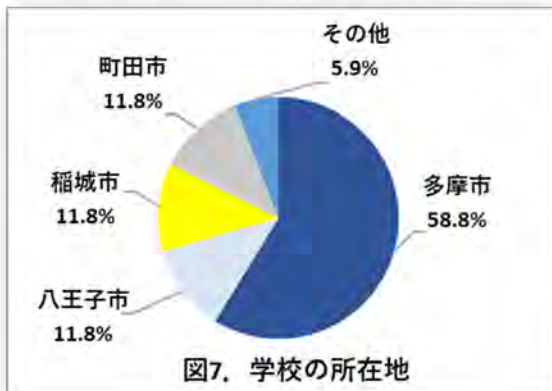
一般来館者の満足度は、各項目とも90%以上の評価をいただくとともに多くの項目で昨年度をやや上回りました。特に接遇は、昨年度一昨年度に続き、最も高い評価をいただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策も同様に非常に高い評価でした。

## お客様の声④

### アンケート結果（小学校等団体見学）



	学校数	アンケート回答数
小学校	16校	14件
中学校	4校	0件
高等学校	1校	1件
回答重複数	—	2件
合計	21校	17件



次に、学校団体見学のアンケート結果です。

対象学校数：21校

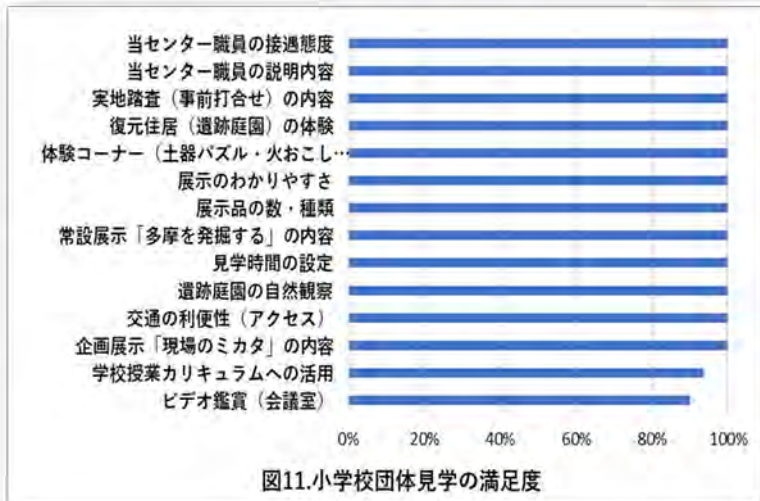
回答学校数：17校

回答率：80.95%

令和2年度と同様に、団体見学が最も多くなる4月・5月が臨時休館だったこともあり、見学校数は昨年度19校に対し21校という結果でした。また、近隣の学校が大半を占めました。

## お客様の声⑤

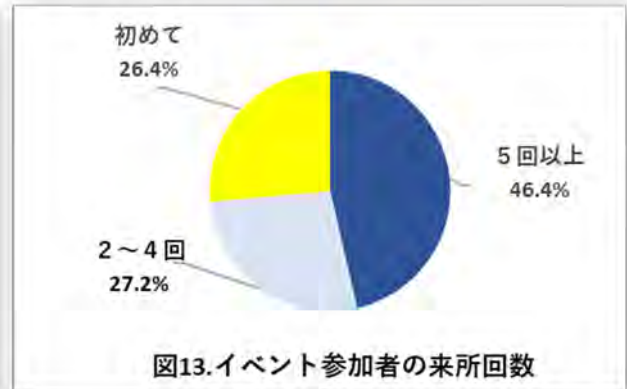
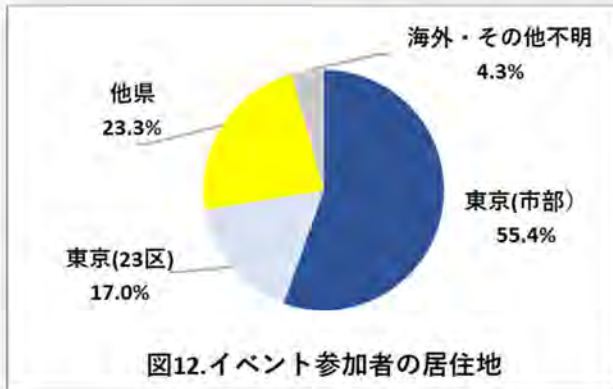
### アンケート結果(小学校団体見学)



学校見学では、100%の満足度をいただいた項目が、昨年度の9を超え12項目となりました。  
三密を避けるための少人数でのご案内など、丁寧な打ち合わせを行った結果と考えています。

## お客様の声⑥

### アンケート結果（イベント参加者）



次にイベント参加者のアンケート結果です。

対象人数：484人

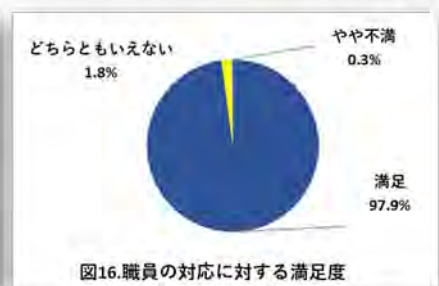
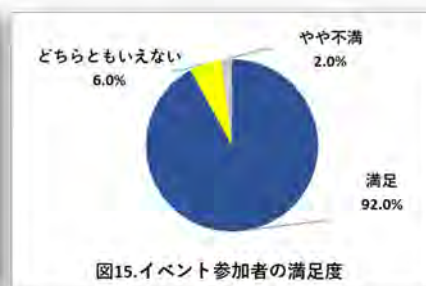
回答人数：403人

回答率：83.26%

近隣の方が多く、都内からが約75%にのぼり、その多くはリピーターの方でした。

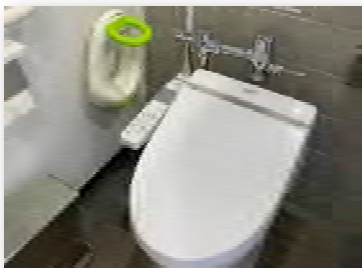
## お客様の声⑦

### アンケート結果（イベント参加者）

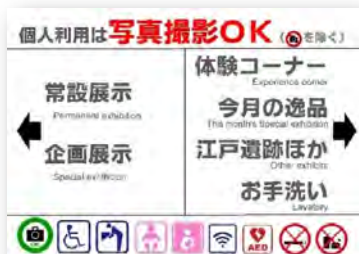


イベントを知ったきっかけは、「インターネット」が約6割と、飛びぬけて多くなりました。  
イベント満足度は92%、職員の対応の満足度は97.9%でした。

## お客様の声を活用した事例



男子トイレにも幼児用トイレがあるといい



写真撮影可能かどうかわかりにくかった



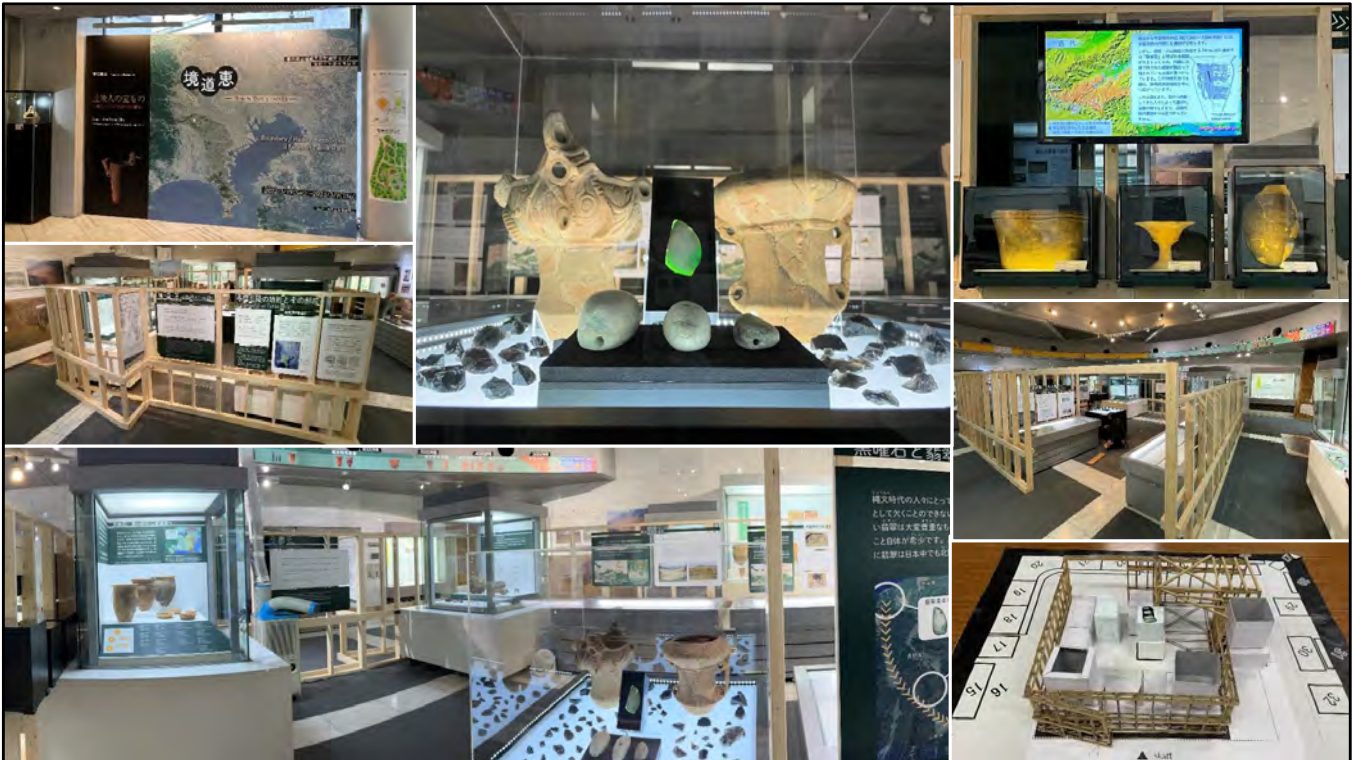
体験を増やしてほしい



コインロッカー用に両替できると嬉しい

お客様の声を活用した事例を紹介します。  
誰でもトイレのみに設置していた補助シートを、男子トイレ及び女子トイレの全ての個室に設置しました。  
また、両替機を設置する場所が無いため、コインを貸し出しできるようにしました。





最後に令和4年度の企画展示「境・道・恵－多摩丘陵の3つの顔－」を紹介します。

多摩ニュータウン遺跡が所在する多摩丘陵について、「地形」、「人々の動き」、「豊かな資源」などの側面から考えてみようという、これまでにない視点の展示です。

今回の展示もまた、調査研究員が企画し、模型を作ってデザインし実現したものです。

東京都立埋蔵文化財調査センターが収蔵している遺物を熟知した学芸員でなければ企画することができない、まさに当センターならではの展示となっています。

「境・道・恵－多摩丘陵の3つの顔－」は、令和5年3月9日まで開催中です。